

## 中高年の嗅覚異常 治療効果一定せず

**Q** 七十歳、男性。数年前から嗅覚が鈍くなり、今ではコーヒーも焦げたような変な臭いしかありません。始めはステロイド点鼻薬がよく効きました。が、今はほとんど効き目がありません。漢方薬によい薬はありませんか。

**A** 中高年の嗅覚異常の相談は少なくない。漢方には嗅覚異常に対するいくつかの処方が古来より記されている。ただし私の経験によれば比較的すみやかに奏効する場合と、全く効果が認められない場合とに分かれる。

症状の程度や発症からの年数などにもよるが、必ずしも漢方薬の治療効果は一定していない。高齢者の治療効果には限界があるように思われ

るが、適切に使用すれば副作用の心配はまずないので、試みる価値はある。

漢方は常に全身状態の改善を目指して処方されており、結果として鼻の症状が改善されればよいと考える。漢方薬の中にもステロイド剤の作用と似ているものや、ステロイドホルモンの効果を増強させるものがある。

薬用人参や甘草（かんぞう）、柴胡（さいこ）などの生薬を含む柴苓湯（さいれいとう）や補中益気湯（ほちゅうえつきとう）などがまず試みられる。また加味八脈散（かみはちみやくさん）の処方には「鼻に常に悪臭があり、累年（るいねん）癒えざるもの、（中略）鼻塞香臭（びそくこうしゅう）を通せざる者に用いる」などと記されている。